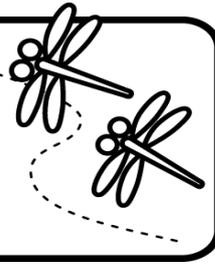


青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和6年度 第226号 9月1日
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行



今月号は、「長泉サマーキャンプ」と、青木村図書館で開催された夏休み特別企画「大人向け講座」の様子をお伝えいたします。



長泉サマーキャンプ

教育委員会事務局 窪田 大悟

今年も8月6日（火）から7日（水）の2日間、姉妹都市である静岡県長泉町へ長泉サマーキャンプの随行をしてきました。今年は昨年よりも参加者が増えて、青木小学校5、6年生の希望者30名、信州大学教育学部の学生10名でのキャンプとなりました。2回目の随行



ということで昨年よりは少し気持ちに余裕がありましたが、どれだけ万全に準備をしても、やはり緊張や不安の方が大きかったです、



出発の日の朝は雨が強く降っていましたが、米山教頭先生の「みんなが楽しく過ごせるように何か少しでも我慢することができる旅にしよう！」という挨拶からキャンプがスタートし、今年もたくさんの保護者の方々にお見送りをさせていただきました。

バスの中では、大学生が考えてきてくれたレクで大いに盛り上がっていました。今年は沼津港からの船の時間が昨年から変更になったこともあり、バスで海水浴場まで行き、帰りは船で戻ってくるという計画



でした。バスに乗る時間が増えるため、酔ってしまう子がいないか心配でしたが、みんな元気にバスから降り海水浴を楽しみました。天気も良く、海の水もとても綺麗でした。大学生に掴まって楽しそうに遊ぶ姿、「魚がいた！」と目をキラキラさせている姿がとても可愛らしく印象に残っています。夜はキャンプファイヤーを通して、長泉リーダーズの中高生との交流をしました。恒例の突如現れる火の神（教育長）ですが、今年は昨年よりももっと突然現れました。代表の児童5人がそれぞれ思い思いの火を授かり点火をしてくれました。そして思う存分花火を楽しみ、無事に1日目を終えました。



2日目を迎え、朝食と宿舎の清掃を済ませた後、富士山登山に向けて出発しました。昨年は雨が降っていて登山ができませんでしたが、今年は予定通り5合目から6合目までの登山ができました。天気も良く、まるで私たちと一緒に晴れ間も移動しているようでした。宝永噴火口を前に集合写真を撮る際も、噴火口を覆ってい



た雲が晴れ、壮大な噴火口を見ることができました。この景色を見ることができたのは、きっと子どもたちが1学期を頑張ってきたご褒美だったのだと思います。そしてお弁当を食べ終え、下山をしていると素敵なゲスト（野生のシカ）が子どもたちを出迎えてくれました。子どもたちはシカを目の前に大興奮。皆を見送るとシカも自分の家に戻っていきましました。滑りやすい箇所や大きな段差がある箇所では、手をつなぎ支え合いながら進んでいく姿を見て、あおきっ子たちは本当に心が優しいなと感じました。

登山を終えた後は朝霧高原でそれぞれお土産を購入しました。ソフトクリームや富士宮焼きそばを食べたり、家族へのお土産をじっくり選んだり、み





んな楽しそうに過ごしていました。帰りのバスでは、この2日間の楽しかった思い出を1人ずつ発表してもらいました。私は公用車で随行していたため内容はわかりませんでした。が、素敵な感想がたくさんあったことでしょう。そして、最後に寄った諏訪湖サービスエリア。空を見上げると、「お疲れさま」の虹が、今年も空にかかっていた。

私自身2回目となったサマーキャンプでしたが、前回とはまた違った様々なあおきっ子たちの姿を見ることができ嬉しかったです。子どもたちのひと夏の思い出に携わることができて幸せでした。

最後になりますが、バスの運転手さんをはじめ、教頭先生、看護師の本保さん、長泉町の方など多くの方々のおかげで、今年も無事にサマーキャンプを終えることができました。感謝しています。そして、早く子どもたちを送り出してくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。



あおきむらとしよかん

青木村図書館 夏休み特別企画 大人向け講座 コーヒーを味わい、コーヒーを知る

青木村図書館では7月27日(土) 午前10時より大人向け講座「コーヒーを味わい、コーヒーを知る」を行いました。

上田市別所温泉でカフェを営む野中海雄さんを講師にお招きし、焙煎による味わいの違いをテイスティングをしながら学びました。



図書館では、これからも楽しいイベントを企画しています！
沢山のみなさんのご来館をお待ちしております♪

編集後記

今年も「長泉サマーキャンプ」が開催されてよかったですね。充実した夏休みになったでしょうか。夏休み明けは、子どもの不安が高まる時ですので、異変を見逃さず寄り添う心を持ちたいですね。

